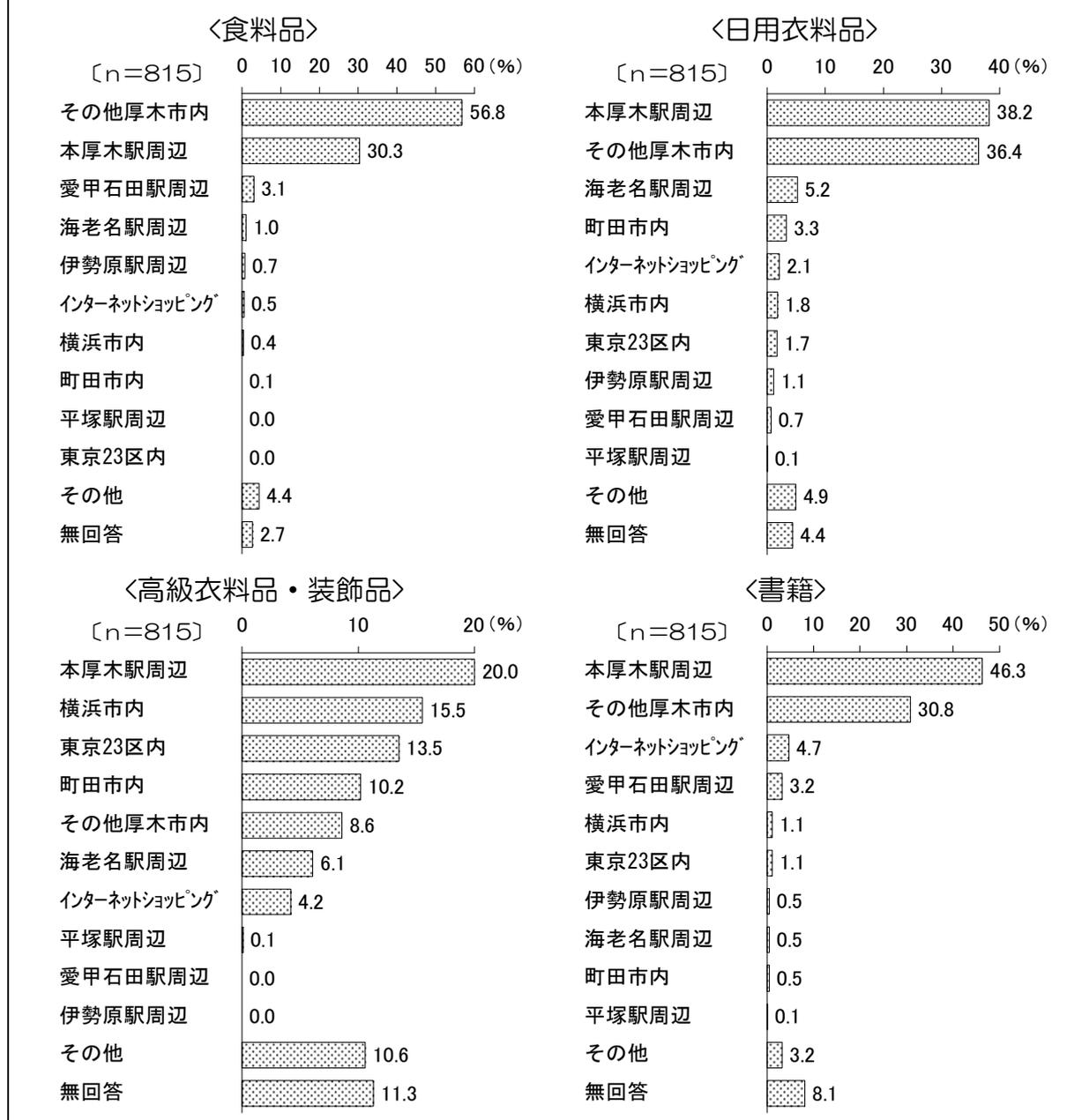


3 産業・商業

(1) 買い物をする場所 (A: 問1)

問. ふだんどどこで買物をしますか。各品目について主な場所1つに○印を入れてください。

図3-1-1 買い物をする場所



【全体】

普段の買物をどこでするか品目別に聞いたところ、『食料品』は、「その他厚木市内」(56.8%)が半数以上を占めている。『日用衣料品』は、「本厚木駅周辺」(38.2%)と「その他厚木市内」(36.4%)で、合わせて7割半ばとなっている。『高級衣料品・装飾品』は、「本厚木駅周辺」(20.0%)、「横浜市内」(15.5%)、「東京23区内」(13.5%)で回答が割れている。『書籍』は、「本厚木駅周辺」(46.3%)と「その他厚木市内」(30.8%)で、合わせて8割近くとなっている。

【経年変化】

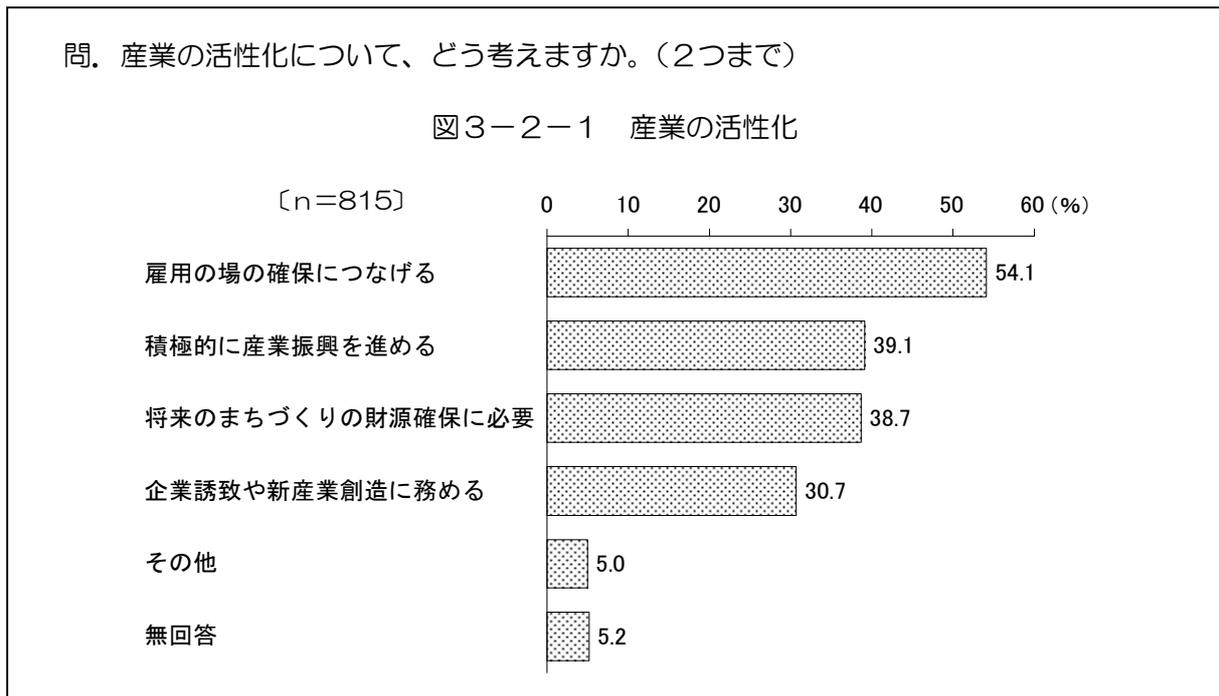
前回調査との比較をみると、『食料品』では「その他厚木市内」が4.5ポイント高くなっている。また、その他の品目では大きな差異はみられない。

表3-1-1 買い物をする場所—経年変化

(%)

品目	順位	平成23年調査 (n=815)		平成21年調査 (n=1,608)	
【食料品】	1	その他厚木市内	56.8	その他厚木市内	52.3
	2	本厚木駅周辺	30.3	本厚木駅周辺	33.1
	3	愛甲石田駅周辺	3.1	愛甲石田駅周辺	3.2
	4	海老名駅周辺	1.0	海老名駅周辺	0.9
	5	伊勢原駅周辺	0.7	伊勢原駅周辺	0.7
【日用衣料品】	1	本厚木駅周辺	38.2	本厚木駅周辺	40.2
	2	その他厚木市内	36.4	その他厚木市内	38.1
	3	海老名駅周辺	5.2	海老名駅周辺	3.6
	4	町田市内	3.3	町田市内	2.1
	5	インターネットショッピング	2.1	インターネットショッピング	1.1
【高級衣料品・装飾品】	1	本厚木駅周辺	20.0	本厚木駅周辺	23.6
	2	横浜市内	15.5	東京23区内	13.7
	3	東京23区内	13.5	横浜市内	13.4
	4	町田市内	10.2	その他厚木市内	11.0
	5	その他厚木市内	8.6	町田市内	9.6
【書籍】	1	本厚木駅周辺	46.3	本厚木駅周辺	48.6
	2	その他厚木市内	30.8	その他厚木市内	29.8
	3	インターネットショッピング	4.7	愛甲石田駅周辺	2.6
	4	愛甲石田駅周辺	3.2	インターネットショッピング	2.5
	5	横浜市内／東京23区内	1.1	東京23区内	1.4

(2) 産業の活性化 (A: 問2)



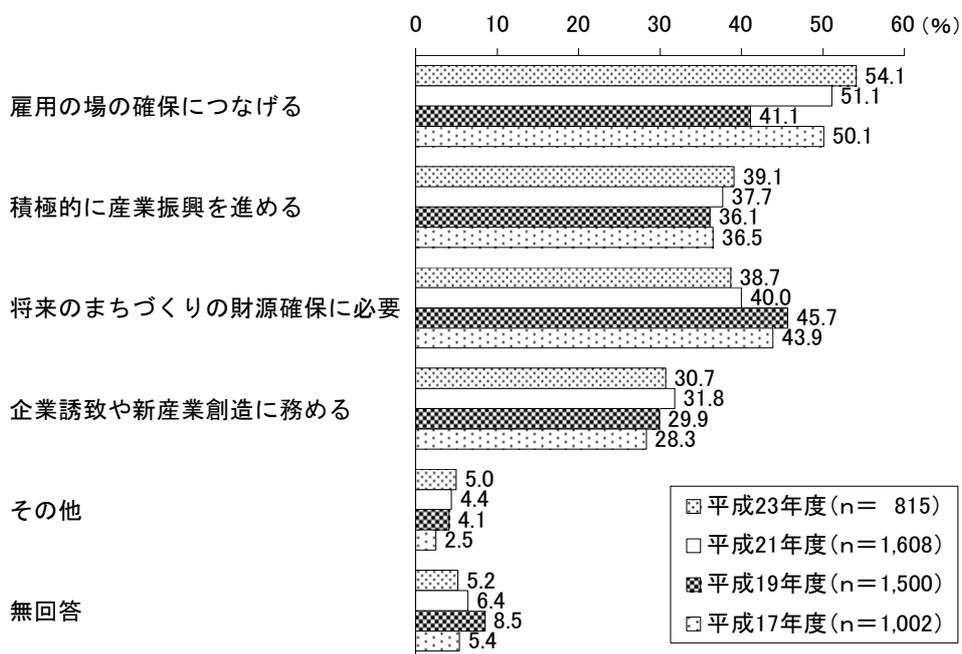
【全体】

産業の活性化についての考え方を聞いたところ、「雇用の場の確保につなげる」(54.1%)が5割半ばで最も高くなっている。次いで、「積極的に産業振興を進める」(39.1%)、「将来のまちづくりの財源確保に必要」(38.7%)、「企業誘致や新産業創造に努める」(30.7%)となっている。

【経年変化】

経年による大きな差異はみられない。

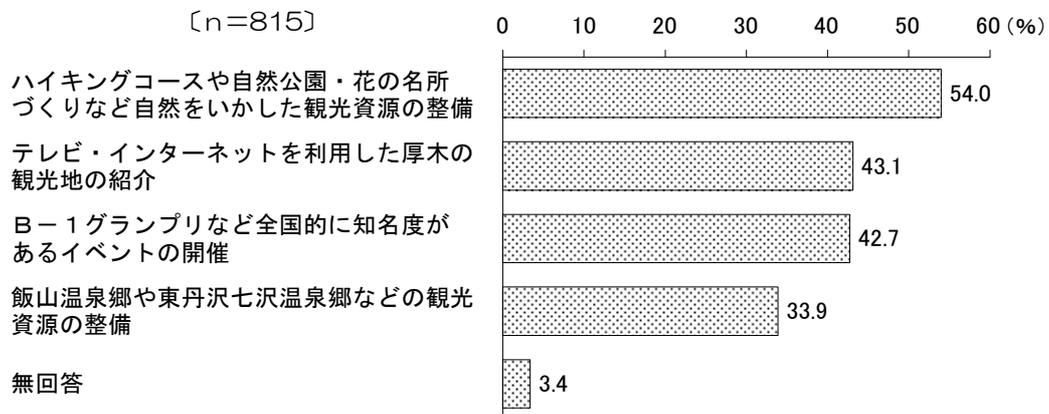
図3-2-2 産業の活性化—経年変化(2つまでの複数回答)



(3) 観光地活性化のための取組 (A:問3)

問. 厚木市の観光地の活性化には、どのような取組が必要だと思いますか。(2つまで)

図3-3-1 観光地活性化のための取組



【全体】

観光地の活性化のための取組について聞いたところ、「ハイキングコースや自然公園・花の名所づくりなど自然をいかした観光資源の整備」(54.0%)が5割半ばで最も高くなっている。次いで、「テレビ・インターネットを利用した厚木の観光地の紹介」(43.1%)、「B-1グランプリなど全国的に知名度があるイベントの開催」(42.7%)、「飯山温泉郷や東丹沢七沢温泉郷などの観光資源の整備」(33.9%)となっている。

【経年変化】

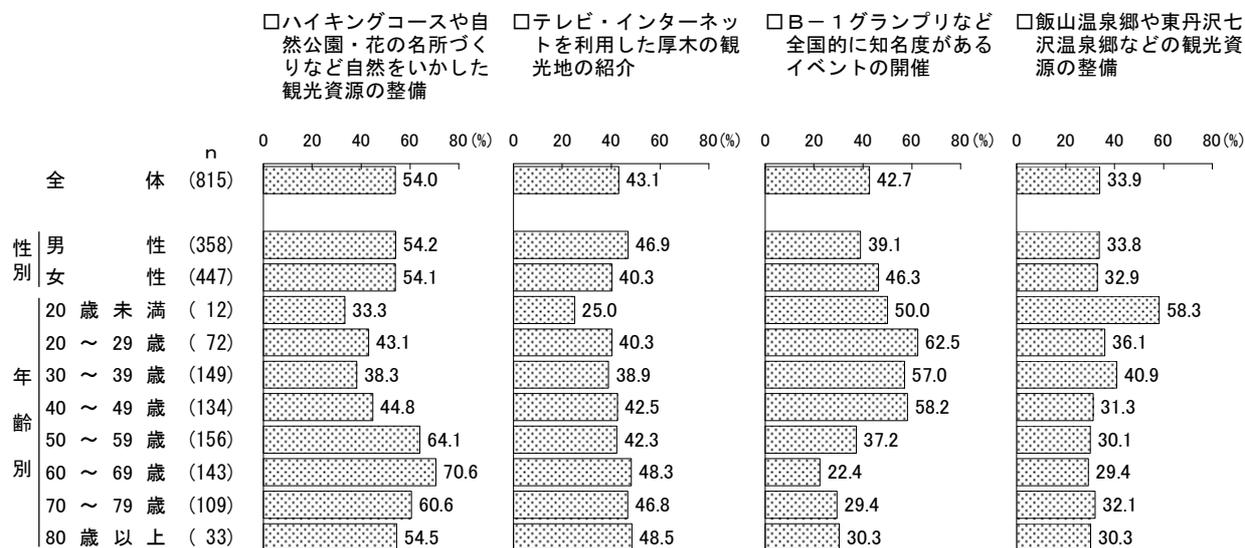
新規設問のため、経年変化はなし。

【属性別】

性別にみると、女性で「B-1グランプリなど全国的に知名度があるイベントの開催」(46.3%)が男性より7.2ポイント高くなっている。一方、男性で「テレビ・インターネットを利用した厚木の観光地の紹介」(46.9%)が女性より6.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ハイキングコースや自然公園・花の名所づくりなど自然をいかした観光資源の整備」が50歳代(64.1%)で6割半ば、60歳代(70.6%)でほぼ7割と他の年代より高く、40歳代以下で「B-1グランプリなど全国的に知名度があるイベントの開催」が5割以上で他の年代より高くなっている。

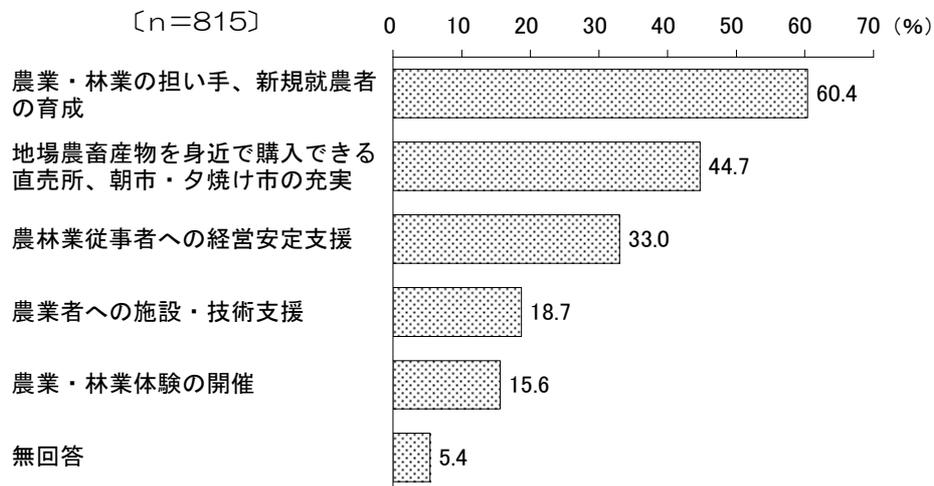
図3-3-2 観光地活性化のための取組一性別、年齢別(2つまでの複数回答)



(4) 農業・林業振興のための取組 (A:問4)

問. 都市農業や林業の振興にはどのような取組が必要だと思いますか。(2つまで)

図3-4-1 農業・林業振興のための取組



【全体】

都市農業や林業の振興のための取組について聞いたところ、「農業・林業の担い手、新規就農者の育成」(60.4%)が6割で最も高くなっている。次いで、「地場農畜産物を身近で購入できる直売所、朝市・夕焼け市の充実」(44.7%)、「農林業従事者への経営安定支援」(33.0%)となっている。

【経年変化】

新規設問のため、経年変化はなし。

【属性別】

性別にみると、女性で「地場農畜産物を身近で購入できる直売所、朝市・夕焼け市の充実」(48.1%)が男性より7.3ポイント高く、「農業・林業の担い手、新規就農者の育成」(62.9%)が男性より5.1ポイント高くなっている。一方、男性で「農業者への施設・技術支援」(22.3%)が女性より6.6ポイント高く、「農林業従事者への経営安定支援」(36.3%)が女性より5.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、70歳代で「地場農畜産物を身近で購入できる直売所、朝市・夕焼け市の充実」(54.1%)が5割半ばで他の年代より高くなっている。

図3-4-2 農業・林業振興のための取組—性別、年齢別（2つまでの複数回答）

